

## 「持続可能な観光」推進への機運醸成に向けたワークショップを実施

(ブランディング)

四国「持続可能な観光」推進ネットワークの活動の一環で、地域における「持続可能な観光」推進への機運醸成を目的としたワークショップを実施しました。講師にNPO法人大雪山自然学校代表理事の荒井一洋氏をお招きし、12月7日（土）に香川県三豊市で、9日（月）に愛媛県伊方町で実施しました。

フィールドワークの前半では、講師から「持続可能な観光」に関する基本的な考え方などの説明を受けたうえで、実際に地域の観光地や街中を視察しながら、「持続可能な観光」として良い取り組みができていない点、課題が残る点などを探していきました。また、後半では、前半の視察内容などを踏まえて、地域での「持続可能な観光」への取り組みのあり方や国際認証の取得などについて、参加者間で意見交換を行いました。

今回のワークショップでは、地域の行政や観光担当者だけでなく、民間事業者や高校の先生・生徒（※伊方町のみ。）の方々にもご参加いただくことができました。引き続き、当機構ではワークショップの実施など、四国での「持続可能な観光」への取り組みを推進してまいります。

### ◇ 香川県三豊市

（実施日）2024年12月7日（土） （会場）仁尾町文化会館（香川県三豊市）

（フィールドワーク視察先）父母ヶ浜、仁尾町内のレトロな街並み、紫雲出山 （参加人数）32名

（機構参加者）竹内チームマネジャー、井上マネジャー

### ◇ 愛媛県伊方町

（実施日）2024年12月9日（月） （会場）佐田岬半島ミュージアム（愛媛県伊方町）

（フィールドワーク視察先）佐田岬半島ミュージアム、三崎のアコウ、坊山石造物群 （参加人数）24名

（機構参加者）同上



<荒井講師による説明>



<フィールドワークの様子（三豊市）>



<フィールドワークの様子（伊方町）>

## 「ANA誘遊四国キャンペーン」20周年を記念した誘客プロモーションイベントを実施

(マーケティング)

12月2日（月）、全日本空輸（株）とタイアップで実施している「ANA誘遊四国キャンペーン」が20周年を迎えたことを記念し、東京交通会館で四国4県の担当者と一緒に、誘客プロモーションイベントを実施しました。イベントでは、四国各県の「食」「観光」「文化」の魅力をより多くの方々に知っていただくために、同キャンペーンのチラシや各県観光パンフレットの配布、20周年記念品の贈呈、旅行商品の紹介や特産品販売、スタンプラリーなどを行いました。

（実施日時）2024年12月2日（月）10:30～17:30

（実施場所）東京交通会館（東京都千代田区有楽町）

（参加団体）全日本空輸（株）、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

（機構参加者）竹内チームマネジャー

次ページへ続く



<イベントの様子>



<キャンペーンのチラシ>

## 海外メディアに四国のアドベンチャートラベルに関する記事を掲載

(マーケティング)

当機構では、2025年大阪・関西万博を見据え、四国のアドベンチャートラベルの魅力を世界へ発信するため、海外の大手メディアと連携した情報発信を実施しています。

この度、全世界で絶大な影響力を持つ世界的最大手トラベルメディアの「Lonely Planet」とイギリス最大のトラベルメディア「Wanderlust UK」、アメリカを中心に世界的な影響力を持つ「The New York Times」の3媒体で四国のアドベンチャートラベルをPRする記事を掲載しました。皆さま、ぜひご覧ください。

### 【掲載メディア・記事】

※記事は記事タイトル上のリンクまたは二次元コードからご覧いただけます。

#### ◇ Lonely Planet

##### [Cuisine and culture from Shikoku's waters and nature](#)

「水の恵み」をテーマに、四国の文化体験、食文化などをご紹介します。



#### ◇ Wanderlust UK

##### [Discover the flavourful gastronomy of Shikoku, Japan](#)

「豊富な食文化」をテーマに、四国各地のグルメ、食文化体験などをご紹介します。



#### ◇ The New York Times

##### [A Sacred Journey Making the Shikoku Pilgrimage With a Sendatsu](#)

日本特集企画内で、四国遍路について先達へのインタビューを中心にをご紹介します。



## 2024年度 第2回四国インバウンド担当課室長会議を開催

(マーケティング)

12月3日(火)、「2024年度 第2回四国インバウンド担当課室長会議」をオンライン開催しました。本会議は、四国4県とJR四国が連携して事業を展開していくことを目的に、インバウンド担当課の課長や室長などに参加いただいて、当機構が開催しているものです。

今年度2回目となる本会議では、当機構の事業の進捗状況と次年度事業の方向性の報告を行った後、四国4県とJR四国の皆さまからも報告やその他情報共有をいただきながら、今後に向けての意見交換を実施しました。引き続き、関係団体の皆さまと密に連携して、四国へのインバウンド誘客に取り組んで参ります。

(開催日時) 2024年12月3日(火) (開催場所) オンラインで実施 ※写真はございません。

(参加者) 四国4県、JR四国インバウンド担当者 計8名 (機構参加者) 桑村本部長 ほか9名



## 2024年度 JR周遊促進海外旅行会社現地研修（FAMツアー）を実施

（マーケティング）

12月5日（木）から8日（日）の4日間、四国向け商品の造成と誘客拡大を目的に、韓国の旅行会社の旅行商品造成担当者を招請して、愛媛県と高知県の観光素材を視察・体験いただくFAMツアーを実施しました。今回のFAMツアーでは、愛媛県では観光列車「伊予灘ものがたり」に、高知県では定期特急列車に乗車するなど、鉄道を利用した旅の魅力を体感していただきながら、観光地の視察などを行いました。

また、ツアーの実施に併せて、開催地である愛媛県や高知県、JR四国から来賓をお招きし、交流会を開催して参加者間で情報や意見交換を深めることができました。

今回のツアーを通じて、鉄道旅による両県の魅力を直に体感いただくことができました。引き続き、参加者へのフォローを行いながら、四国への誘客に繋がるよう取り組んでまいります。

（実施日）2024年12月5日（木）～8日（日）

（視察場所等）

- ◇ 愛媛県：道の駅ようみいきいき館、志津かわ珈琲庵、ハタダできたてお菓子館、高麗苑  
道後hakuro、観光列車「伊予灘ものがたり」乗車、みかん狩り（西条市）  
あけはまーれレストラン、旬味楽 八神
- ◇ 高知県：芽吹手沈下橋、（株）無手無冠、海洋堂ホビー館、道の駅なぶら土佐佐賀  
ネスト・ウエストガーデン土佐、黒鳥鍛造工場、水車亭、黒潮工房、土佐久礼市内  
定期特急列車「あしずり号」、とさのさとアグリコレット、おらんく家本店、高知城  
ザ・クラウンパレス新阪急高知、日曜市（高知市内）

（参加者）韓国の旅行会社の旅行商品造成担当者14社、14名

（機構参加者）桑村本部長 ※愛媛県のみ、松本統括副本部長 ※高知県のみ  
長谷部チームマネジャー、別宮マネジャー



<「SHIMANAMI」文字モニュメント>



<みかん狩り体験>



<夕食の様子（愛媛県）>



<カツオの薫焼き体験>



<土佐打刀物見学：黒鳥鍛造工場>



<夕食の様子（高知県）>

## 四国観光座談会（上海市）、四国観光セミナー in 北京 四国の魅力体験イベント（北京市）を開催

（マーケティング）

12月18日（水）、在上海日本国総領事館のご協力のもと同領事館で、四国4県、（一社）そのの郷、当機構の共同で、現地の旅行会社を対象とした「四国観光座談会」を開催しました。座談会では、はじめに四国各地の観光名所などを紹介したうえで、参加旅行会社からの質問にお答えしながら意見交換などを行いました。現地の旅行会社からは、紹介した観光名所へのお勧めの訪問時期や教育旅行の受入に関する質問など、多数のご質問をいただきました。

また、12月20日（金）には、在中国日本国大使館のご協力のもと同大使館で、北京市で初めての開催となる「四国観光セミナー in 北京」を開催しました。大阪・関西万博の開催に併せて、北京からの直行便がある大阪から四国への誘客を図るために、当機構からは北京から四国までの交通機関や四国遍路を中心にPRを行いました。セミナー終了後にも、四国への関心が高い現地の旅行会社との意見交換を実施し、大変有意義な会となりました。

さらに、翌21日（土）には、同大使館のご協力のもと、「四国の魅力体験イベント」を開催しました。

イベントでは、一般応募で選ばれた中国在住の方、約100名を対象に、四国の観光名所のPR、郷土料理の試食会、阿波踊り体験などを実施しました。参加者の方々には、道後温泉や小豆島など各県の観光名所や四国遍路のPRのみならず、徳島県の鳴門金時や香川県の讃岐うどん、愛媛県のみかんのちらし寿司、高知県の柚子ゼリーなどに舌鼓を打っていただくなど、非常に喜んでいただくことができました。また、阿波おどり体験では、同行いただいた（一社）そのの郷日下事務局長に先生になっていただき、太鼓の音に合わせて会場全体で踊り、非常に盛り上がりました。なお、イベントの様子は、NHK中国総局や共同通信社から取材いただき、四国内でのニュース放送のほか、全国の新聞各紙でも取り上げていただきました。

### ◇ 四国観光座談会

（開催日）2024年12月18日（水） （開催場所）在上海日本国領事館（中国上海市）

（参加者数）36社 （機構参加者）清水CMO、鎌田チームマネジャー

### ◇ 四国観光セミナー in 北京

（開催日）2024年12月20日（土） （開催場所）在中国日本国大使館（中国北京市）

（参加者数）29社 （機構参加者）同上

### ◇ 四国の魅力体験イベント

（開催日）2024年12月21日（日） （開催場所）在中国日本国大使館（中国北京市）

（参加者数）116人 （機構参加者）同上



<四国観光座談会の様子（上海）>



<四国観光セミナーin北京の様子>



<四国魅力体験イベント（北京）>

また、JNTO北京事務所を訪問し、佐藤絵美子所長と昨今の中国における旅行の動向や訪日客数の推移などについて、意見交換を行いました。



## 第16回 JAF会員優待施設連絡会で講演

(その他)

12月3日（火）、（一社）日本自動車連盟香川支部主催の「第16回 JAF会員優待施設連絡会」で、JAF会員優待施設からの参加者などを対象に、基調講演として「四国ツーリズム創造機構のインバウンドへの取り組み」と題して、当機構の取り組みなどを説明しました。

（開催日）2024年12月3日（火）

（開催場所）中津万象園（香川県丸亀市）

（機構講演者）桑村本部長



<講演の様子>

## RNC西日本放送 ラジオ番組「さわやかラジオ ラ・フレッシュ」に出演

(その他)

12月4日（水）、毎月第一水曜日に放送されているRNC西日本放送のラジオ番組「さわやかラジオ ラ・フレッシュ」に出演しました。

同番組内で、四国地方ESD活動支援センターが四国内でのESDに関する情報発信を行う「みんなで考え行動しよう 環境エコロジー！」のコーナーで、当機構が取り組んでいる「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」の活動について、対話形式で紹介いただきました。

（出演・放送日）2024年12月4日（水）

（収録場所）RNC西日本放送（香川県高松市）

（機構出演者）桑村本部長



<放送収録の様子>

## 四国4県知事を訪問

(その他)

当機構の2024年度の実施事業の状況報告と2025年度事業の方向性の説明のために、四国4県の知事を訪問しました。今回の訪問では、主に大阪・関西万博の開催を踏まえた「旅マエ」、「旅ナカ」に関するプロモーションや四国遍路に関して意見交換を行いました。

（実施日）2024年12月13日（金） 徳島県 後藤田知事 17日（火） 愛媛県 中村知事

20日（金） 高知県 濱田知事 23日（火） 香川県 池田知事

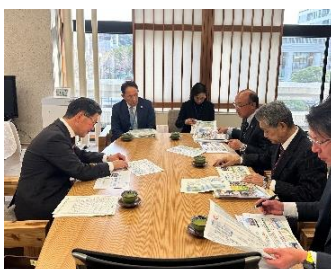
（機構出演者）半井代表理事、桑村本部長、松本統括副本部長



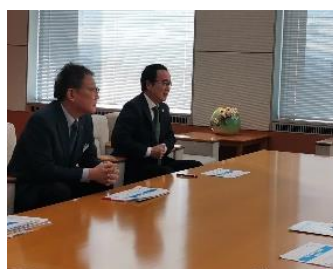
<徳島県訪問>



<愛媛県訪問>



<高知県訪問>



<香川県訪問>

## 当機構が後援する「四国カメラ部第三回写真展 ～愛でたい四国 – Beloved SHIKOKU～」が開催

(その他)

12月28日（土）から1月4日（土）の8日間、丸亀市市民交流活動センターマルタスで、当機構が後援する「四国カメラ部第三回写真展 ～愛でたい四国 – Beloved SHIKOKU～」が開催されました。

写真展では、（一社）四国カメラ部による四国各地の魅力的な写真の展示のほか、写真家の方々によるトークショーなどが行われました。

展示会場では当機構のブースも設置いただき、来場者に四国の観光マップなどを配布いただきました。

（開催日）2024年12月28日（土）～2025年1月4日（土）

（開催場所）丸亀市市民交流活動センターマルタス（香川県丸亀市）



<トークイベントなどの様子>



<展示会場の様子>



<当機構のブース>

## 「Tourism1.5 ～ ツーリズム フォワード ～」に当機構の取り組みが掲載

(その他)

（株）JTBが季刊発行しているコミュニケーションマガジン「Tourism1.5 ～ ツーリズム フォワード ～（Vol.11）」に当機構の取り組みが掲載されました。皆さま、是非ご覧ください。

※記事は以下のリンクまたは二次元コードからご覧いただけます。

<https://www.itbbwt.com/government/trend/detail/id=3866>



今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

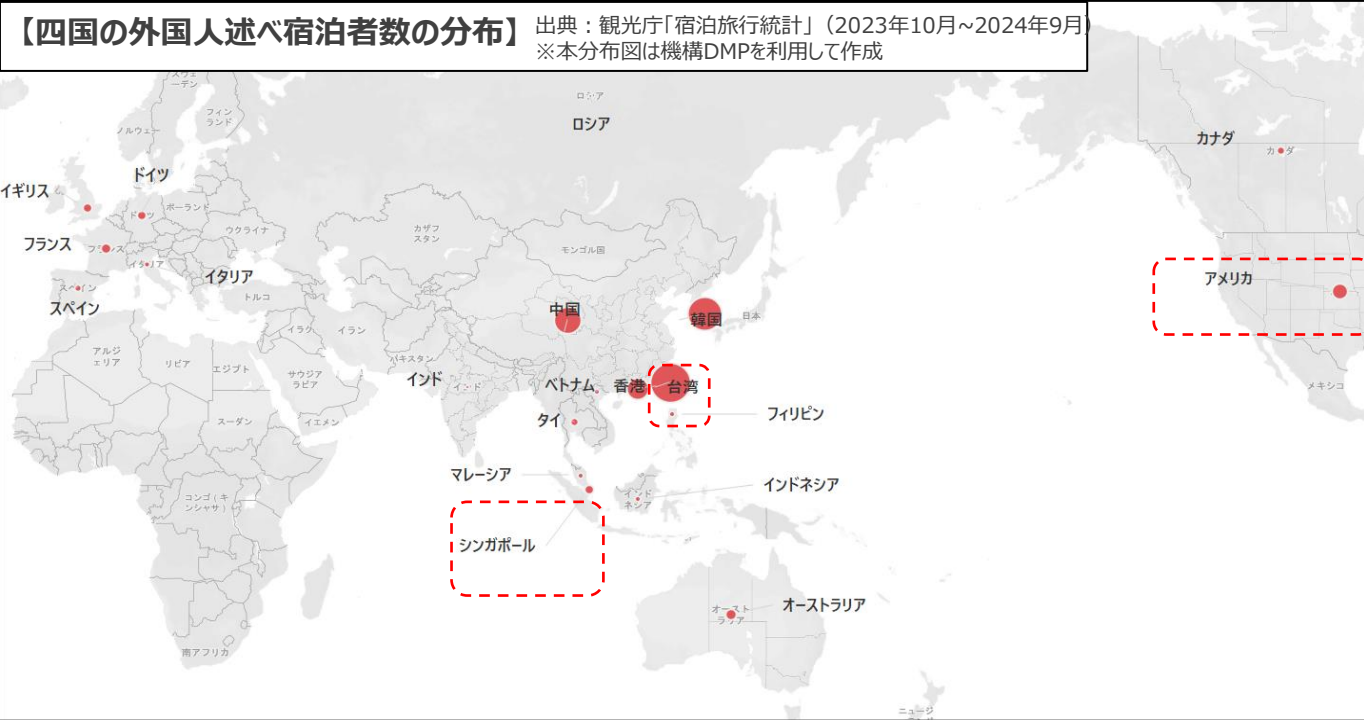
日本政府観光局（JNTO）によると、2024年10月の訪日外国人旅行者数（推計値）が約3,019万2,600人（2019年比12.2%増）で、統計開始から過去最速で年間累計3,000万人を突破するなど、インバウンドの回復が顕著となっており、四国内でも日々多くの観光客の方々をお見かけするようになりました。そこで、今回は四国にお越しになった外国人観光客の国別の概況をお伝えします。

【四国の外国人延べ宿泊者数（期間計）】 出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2023年10月～2024年9月）

順位	国名	順位	国名
1	台湾:370,560人泊	11	タイ:9,020人泊
2	韓国:262,070人泊	12	カナダ:8,980人泊
3	中国:160,720人泊	13	スペイン:6,260人泊
4	香港:100,570人泊	14	イタリア:3,690人泊
5	アメリカ:47,890人泊	15	マレーシア:3,600人泊
6	オーストラリア:20,710人泊	16	ベトナム:3,260人泊
7	フランス:17,080人泊	17	フィリピン:2,350人泊
8	ドイツ:13,360人泊	18	インドネシア:2,290人泊
9	イギリス:12,940人泊	19	インド:1,890人泊
10	シンガポール:12,610人泊	20	ロシア:720人泊

東アジア	欧米豪	東南アジア	その他エリア
893,920人泊	130,910人泊	33,130人泊	86,250人泊

【四国の外国人述べ宿泊者数の分布】 出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2023年10月～2024年9月）※本分布図は機構DMPを利用して作成



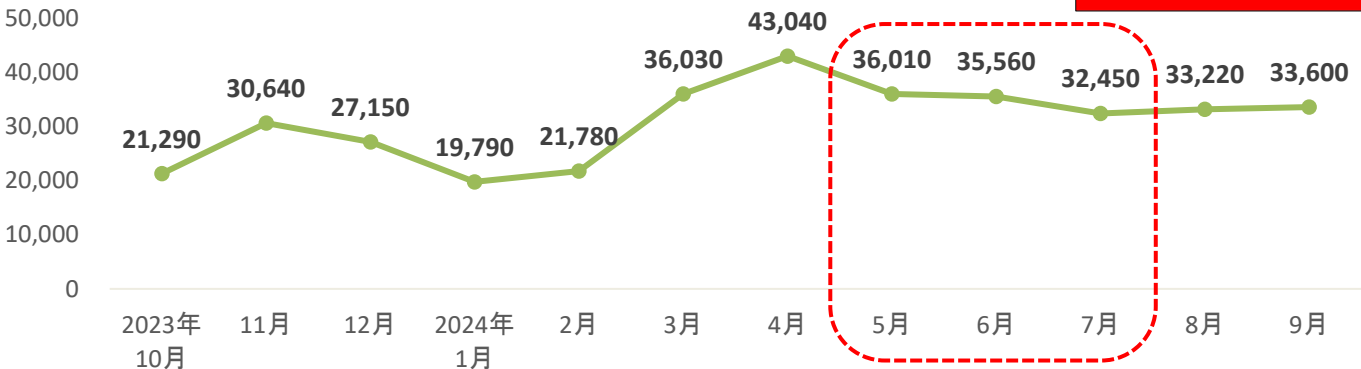
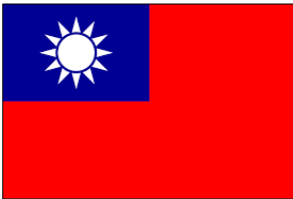
四国への直行便の就航により、特に、東アジア地域（上記緑色部分）からの宿泊者が多くなっていますが、欧米豪地域（青色部分）や東南アジア地域（オレンジ色部分）からの宿泊者も十分確認することができます。今回は、東アジア地域から「台湾」、欧米豪地域から「アメリカ」、東南アジア地域から「シンガポール」と、各地域の上位1か国をピックアップして、概況を紹介いたします。

次ページに続く



【台湾からの四国述べ宿泊者数（月別）】

出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2023年10月～2024年9月）

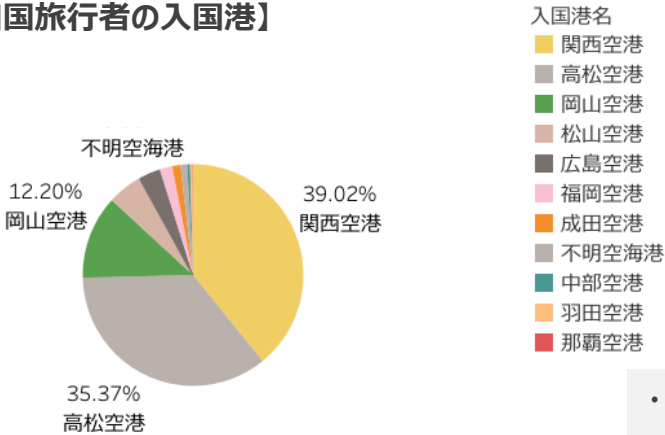


【台湾の主な祝日及び休暇（一部）】

春節 旧正月	1月28日～2月4日
夏季休暇	7月上旬～8月下旬の約60日間（小中高生）

- 台湾からの訪日が多いのは全国的に4月、四国も同様の傾向。
- 夏季休暇が来年度開催される瀬戸内国際芸術祭の夏会期（8月1日～8月31日）とも重なるため、ファミリー層の来訪が期待できる。

【四国旅行者の入国港】



- 直行便（※）が多いことが宿泊者数が多くなった要因であると考えていましたが、半数を超えて、四国外の空港からも来訪いただいていることが分かります。

※左記データは、2019年のデータを用いているため、最新の四国内の直行便情報を加味していないことにご留意ください。最新データは現在当機構のDMPで可視化準備中です。

出典：観光庁「FF-Data（訪日外国人流動データ）」（2019年）  
※上記円グラフは当機構DMPを利用して作成

【当機構のHP閲覧ページランキング】

出典：Google Analytics（2024年1月～2024年12月）

NO.	コンテンツ
1	<a href="#">トップページ</a>
2	<a href="#">四国遍路</a>
3	<a href="#">観光スポットトップページ</a>
4	<a href="#">天空の村・名頃かかしの里に梶原町の隈研吾建築など、一度は訪れるべき四国の隠れた名スポット</a>
5	<a href="#">四国について</a>

- Google Analyticsを用いて当機構のHPの閲覧数を分析しましたが、他国と比べて、閲覧されているコンテンツに特徴は見られませんでした。
- しかし、HPへの流入キーワードでは、「金刀比羅宮」、「栗林公園」、「小豆島」、「松山城」、「高知城」といった固有名詞が目立っています。
- 一定程度、四国内の観光スポットの認知がなされており、個人旅行者が、四国への来訪を検討するなかで、当機構のHPを含めた、比較閲覧が盛んになされていることも伺えます（※）。

※Google Search Console調べ

- 左記のランキングにはありませんが、「志国土佐時代の夜明けのものがたり」を筆頭に観光列車の閲覧者数も多くなっています。次ページに続く





【アメリカからの四国述べ宿泊者数（月別）】

出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2023年10月～2024年9月）

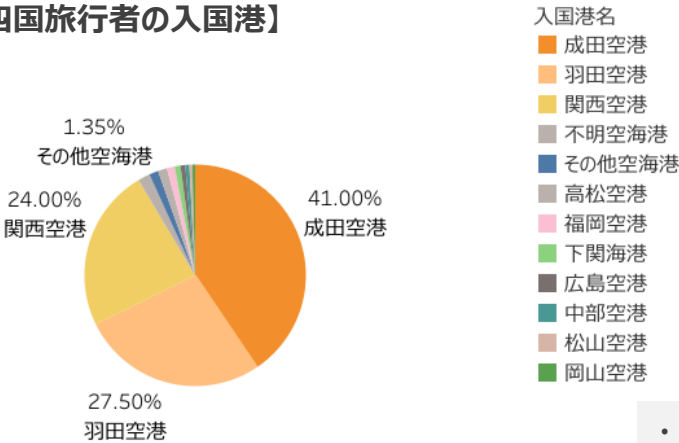


【アメリカの主な祝日及び休暇（一部）】

復活祭	4月20日を含む1週間
夏季休暇	6月～8月の約70日間（小学生～ハイスクール）
独立記念日	7月4日前後に休暇を取得する傾向

・ 学生の夏季休暇も影響して3月～7月での訪日が多いと一般的に考えられる一方で、四国への来訪は10月が多くなっています。学生以外の客層で秋の四国を楽しみに来訪しているものと考えられ、また、四国遍路、サイクリング、アートなど、四国特有の観光コンテンツを楽しむのに適した時期だともいえます。

【四国旅行者の入国港】



- ・ アメリカ本土は、成田・羽田空港からの四国来訪が多い市場ですが、関西空港からの来訪も多くなっています。
- ・ 関西国際空港からの来訪者は、アメリカから直行よりも、他国を経由して同空港に到着している方も多と考えられます。

※左記データは、2019年のデータを用いているため、最新の情報を加味していないことにご留意ください。最新データは現在当機構のDMPで可視化準備中です。

出典：観光庁「FF-Data（訪日外国人流動データ）」（2019年）  
※上記円グラフは当機構DMPを利用して作成

【当機構のHP閲覧ページランキング】

出典：Google Analytics（2024年1月～2024年12月）

NO.	コンテンツ
1	<a href="#">四国遍路</a>
2	<a href="#">Wonder around Japan（JNTO連携事業）</a>
3	<a href="#">トップページ</a>
4	<a href="#">観光スポットトップページ</a>
5	<a href="#">モデルコーストップページ</a>

- ・ 他コンテンツに比べて、圧倒的に四国遍路の閲覧数が多くなっています。
- ・ そのため、HPへの流入キーワードでは、「shikoku pilgrimage」、「88 temple pilgrimage」が多くなっています。
- ・ また、「shikoku trail」での流入があり、四国遍路などの巡礼に加え、当機構が注力しているアドベンチャートラベルのニーズが伺えます。
- ・ 左記のランキングにはありませんが、サステナブルツーリズムに関する閲覧があり、台湾やシンガポールの市場とは異なる特徴がありました。

次ページに続く

【シンガポールからの四国述べ宿泊者数（月別）】

出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2023年10月～2024年9月）

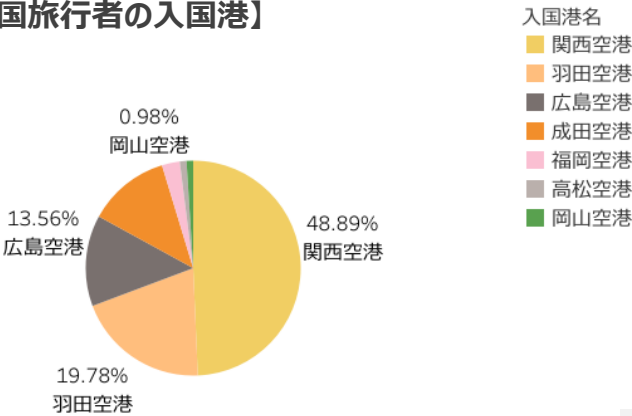


【シンガポールの主な祝日及び休暇（一部）】

旧正月	1月29日～1月30日
夏季休暇	11月中旬～1月初旬の約45日間（小中学生）

- ・シンガポールからの訪日が多いのは全国的に12月となっており、これは年間を通して30℃前後となるシンガポールにおいて「日本の冬」へのニーズがあることが影響していると考えられます。四国では11月での来訪が多く、これは夏季休暇中の学生とその家族の来訪が寄与しているものと考えられます。
- ・「冬の四国」を効果的に訴求することで、ボリュームゾーンの12月の来訪を伸ばすことが期待できます。

【四国旅行者の入国港】



- ・関西国際空港からの来訪が約半分を占めており、次いで、羽田空港、広島空港、成田空港、岡山空港となっています。
- ・四国内の県間の移動手段はレンタカーの利用が多くなっています。

※左記データは、2019年のデータを用いているため、最新の四国内の直行便情報を加味していないことにご留意ください。最新データは現在当機構のDMPで可視化準備中です。

出典：観光庁「FF-Data（訪日外国人流動データ）」（2019年）  
※上記円グラフは当機構DMPを利用して作成

【当機構のHP閲覧ページランキング】

出典：Google Analytics（2024年1月～2024年12月）

NO.	コンテンツ
1	<a href="#">トップページ</a>
2	<a href="#">観光スポットトップページ</a>
3	<a href="#">モデルコーストップページ</a>
4	<a href="#">四国遍路</a>
5	レンタカーモデルコース（※全9コース公開中）

- ・モデルコースやレンタカーを想定したモデルコースの閲覧が多くなっています。
- ・そのため、HPへの流入キーワードでは、1位の「Shikoku」に次いで「shikoku itinerary（旅程）」が多くなっています。
- ・関西国際空港をin/outとしたレンタカーのモデルコースの閲覧も好調で、四国内に限らず、関西や瀬戸内を含む広域での訴求が効果的です。

今回は3地域を中心に紹介させていただきました。引き続き、DMPをはじめマーケティングデータをもとに四国への誘客に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



代表理事の主な動静

- 12月13日（金）徳島県 後藤田知事訪問
- 17日（火）愛媛県 中村知事訪問
- 20日（金）高知県 濱田知事訪問
- 23日（火）香川県 池田知事訪問
- 25日（水）定例会議・推進会議（当機構の会議）

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
ミュージカル「坊ちゃん劇場版KANO」	坊ちゃん劇場	2023年4月1日（土）～2025年3月 予定	<a href="https://www.botchan.co.jp/production.html">https://www.botchan.co.jp/production.html</a>
「四国コンテンツ映像フェスタ2024」	四国総合通信局、四国情報通信懇談会	2024年6月20日（木）～2025年2月 予定	<a href="https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/">https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/</a>
土佐の「おきゃく」2025	土佐の「2025」推進会議	2024年11月18日（月）～2025年3月9日（日）	<a href="https://tosa-okyaku.com/">https://tosa-okyaku.com/</a>
四国八十八ヶ所めぐり「お砂踏み」	お砂踏み新潟開催事務局	2024年12月5日（木）～2025年1月24日（金）	<a href="https://osunafumi.jp/">https://osunafumi.jp/</a>
1日で体験できる「四国八十八ヶ所霊場 お砂踏み」	イオンモール与野	2024年12月6日（金）～2025年1月19日（日）	未定

12月以降の主な予定表

区分	1月	2月	3月
マーケティング（国内）	ANA誘遊四国キャンペーン（10月～3月） 四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会議（2月14日/愛媛） サイクルモードライド大阪2025（3月1～2日/大阪）		
マーケティング（国際）	ぐるっと四国めぐりフェア（1月18、19日/大阪）	JNTO香港マーケット研究会（2月4日/オンライン）	理事会・臨時社員総会（3月24日/香川）
ブランディング	香川大学ビジネススクール公開講座（全5回）（12月12日～1月23日の毎週木曜日/高松市） 観光専門人材育成セミナー第2回（1月10日/香川）	第3回意見交換会in愛媛（1月14日/愛媛）	DMP意見交換会（1月23日/徳島、24日/香川）（1月30日/愛媛、31日/高知）

（一社）四国ツーリズム創造機構  
事業推進本部 ブランディングチーム 神野、藤井  
TEL：087-813-0431 FAX：087-813-0312  
Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>  
Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/>



SHIKOKUTOURISM